

## 総務常任委員会 政策提言

### 1 支所の充実について

#### 現状と課題

合併からもうすぐ12年を迎えようとする中で、行財政改革に伴う職員数削減のしわ寄せが支所に偏っており、そのことで生活に直結する窓口業務、防災業務、道路水道関係業務、保健師の本庁集約など市民に対する様々な行政サービスの低下を招いており、高齢化が進む支所周辺住民の負担となってきた。

総務常任委員会では、各支所へ出向くなどして所管事務調査を行ったほか、第5回議会報告会では、支所の充実についてをテーマの一つと定め、市民と意見交換を行ったところである。

以上のことを踏まえ、下記のとおり提言を行う。

#### 提言

- (1) 保健師の支所常駐を検討すること、また、そのための人員を確保すること。
- (2) 窓口業務や地元地理に精通した職員を配置すること。
- (3) 夜間時や緊急時における迅速な対応のため水道関係業務など専門性が必要で委託可能な部分については業者委託を検討すること。

### 2 朝倉文夫記念館の活性化について

#### 現状と課題

記念館や記念文化ホールなどを含む朝倉文夫記念公園は、朝倉文夫氏の遺志を継承する世界に誇れる貴重な財産であり、更に芸術・文化の情報発信地としてのシンボル施設でもあるが、一方で交通アクセスの悪さや企画の硬直化による利用者数の伸び悩みが課題である。

総務常任委員会では、朝倉文夫記念館へ出向き所管事務調査を行い、更に朝倉文夫記念公園ファンクラブと意見交換を行ったほか、第5回議会報告会では、朝倉文夫記念館の活性化についてをテーマの一つと定め、市民と意見交換を行ったところである。

以上のことを踏まえ、下記のとおり提言を行う。

#### 提言

- (1) アクセス道路を整備（路線の変更検討を含む）すること。
- (2) 案内看板を整備すること。
- (3) 記念館だけでなく公園全体を整備（遊歩道や植栽）すること。
- (4) 親しみやすい名称（例：森の美術館等）について、公募等による変更を検討すること。
- (5) 今より敷居が低く、多くの市民が興味を持ち参加しやすい自主事業やイベント（例：販売可能な展示会、芸術以外のイベント、有名人の個展など）を企画すること。
- (6) PRについて従来の方法に加えて、新たな広報手段についても検討すること。